

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

F. その他

④その他

《理工農系》

●名古屋大学多元数理科学研究科多元数理科学専攻

「学生プロジェクトを支援する数理科学教育」の事例

＜教育研究支援室の準備＞

（具体的に何を実施したのか）

教育研究支援室の整備を行い、院生と教員のインターフェイスとして教務、研究のサポートを行い、Newsletter を発行し、院生の声や研究成果などを学内外に発信した。また修士論文提出や学位申請の窓口として手続きなどの相談にあたるなど院生のよきコンサルタントとして機能した。

（実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと）

二週間に一度研究科長をオブザーバーとして教育研究支援室ミーティングを構成員全体で行い、様々な業務の予定、進捗状況、目的などを確認するとともに作業の効率化を図って、各人が明確な目的意識を持って業務に当たれるように努めた。

（どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか）

様々な教務プロセスが院生にとって非常に分かりやすいものになって、オープンな雰囲気の中自由な教育研究に励める環境が整備された。教育研究支援室が作り出すオープンで優しい雰囲気が教育研究環境の十分なサポートとなり、それが進学率、定員充足率、学生講演数、学位申請数などの改善につながった。